

令和7年度 学校経営方針

北海道函館聾学校

【目指す子ども像】(校訓)	【目指す学校像】	【目指す教師像】
○ 広い心で 助け合う子ども (徳育・協働) ○ よく考えて 学ぶ子ども (知育) ○ 元気で たくましい子ども (体育)	○ 子どもが進んで学びたい学校 ○ 保護者が安心して通わせたい学校 ○ 教職員が働きたい学校 ○ 地域の方々が寄りたい学校	○ 幼児児童生徒の気持ちを大切に、必要な配慮に対して寄り添える教師 ○ 教育的愛情をもち、幼児児童生徒の可能性を追求する教師 ○ 豊かな人間性と誠実さをもち、信頼される教師 ○ 創造性あふれ、前向きに挑戦しようとする教師 ○ 専門性や指導力向上のため、常に学び続ける教師(授業改善のための ICT 技術を含む) ○ 互いに支え合い、組織的・計画的に業務を推進する教師

(*ゴシック太字は今年度の重点)

学校教育目標
・すすんで知識・技能を磨き、課題を解決する子どもを育てる。(知識・技能) ・よく考え、判断し、適切に表現する子どもを育てる。(思考力・判断力・表現力) ・すすんで学び、たくましく生きる、心豊かな子どもを育てる。(学びに向かう力・人間性等)

【教育方針】	【経営方針】
・「実物・実体験・本物・優れたもの」に触れさせ、学ぶ喜びを実感できる授業改善に努めるとともに、自分の力で考え、判断し、表現できる子どもを育成する。	・「チーム函館聾学校」として、学校経営方針への意識を高くもち、全教職員が協働して業務を推進することで学校教育目標を達成する。
【教育の重点】	【経営の重点】
言語指導及び言語活動の充実 1 学習の基盤となる言語概念を形成するため、子どもの発達段階にあった言語指導の充実を図ると共に、国語科等で培った言語力を基にした言語活動を各教科・教育活動で推進する。 教科指導の充実 2 「わかる授業」を通して、学ぶ意欲を高めると共に、学びを深めるための思考力・判断力・表現力を育て、確かな学力を育成する。 教育課程の充実 3 子どもの良さを伸ばす指導に努め、全人的な発達と豊かな人格形成を図るため、教育課程の編成・実施・評価・改善を行う。 ICT の効果的な活用 4 ICTを活用した授業実践を更に推進し、教育的効果を高める。 専門性を高める授業改善 5 幼児児童生徒の特性を踏まえた聴覚障がい教育の専門性の向上を図るため、研究や研修、授業実践に取り組み、授業改善を図る。	周年行事・研究成果の実践 1 「創立130周年記念事業(R7年度)」に函館盲学校と共に組織的に取り組むと共に北聴研(函館大会)で得られた成果を実践し、研究のまとめに取り組む。 コミュニティ・スクール(CS)の推進 2 地域学校協働活動としてのボランティアバンクを活用し、学校運営協議会と協力して地域や関係機関及びろう・難聴者との連携を強化する。 センター的機能の発揮 3 聴覚障がい特別支援学校として、道南(校区)におけるセンター的機能の発揮に努める。 危機管理意識の高い教育環境整備 4 高い危機管理意識をもち、危機管理マニュアルの見直しを不断に行い、安全で安心な環境で教育活動を推進する。 働き方改革の推進 5 「学校における働き方改革北海道アクション・プラン」の趣旨を踏まえた働き方改革を推進し、教職員が自ら効率的な働き方を捉え、健康を維持し、質の高い教育実践に努める。

令和7年度の重点 (学校設定項目)

- ・「実物・実体験・本物・優れたもの」に触れさせる教育活動を効果的に推進する。
- ・言語指導・教科指導を充実させ、確かな学力の形成を図る。
- ・ボランティアバンクを活用した地域学校協働活動で効果的な教育活動を推進する。
- ・教職員の指導技術と専門性の向上を図る研修を充実する。
- ・ICTを活用した授業実践を更に推進し、教育的効果を高める。
- ・安全・安心な教育環境で教育活動を推進する。
- ・質の高い教育活動と効率的な働き方を実現する。

学校研究課題

「自ら学び考え伝え合う力を育む指導法の研究」
 ～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指して～